

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立西淀川支援学校
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	支援学校における児童・生徒、保護者の学校満足度の向上 学校教育診断（教員）、専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）における支援機器の活用による評価向上
計画名	「どんどんいこーぜ！プロジェクト」 教育活動における移動支援機器の活用プログラムの充実および移動支援機器学習段階表を用いた評価の妥当性の検証

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	3. 【子どもの障がいの状況に応じたより良い教育活動を実施するため、特別支援教育に関する高い専門性と授業力の向上をめざす】 2) 新しい支援機器を導入する等、支援機器の充実による自立活動の指導内容の充実 ア 児童生徒の実態に合わせた様々なスイッチ等を開発、ロコモーターを有効活用し、電動車いすによる児童生徒の積極的な社会参加を促進 実践報告会等での実践事例の共有。支援機器の有用性に対する肯定的評価80%以上とする		
事業目標	児童生徒の障がいの状況に応じた教育活動を実施するため、「移動支援機器（DonDonikoo）」を活用した教育プログラムの充実をめざす。平成30年度は72%であった学校教育自己診断（教員）における支援機器の有用性に対する肯定的評価をこの事業を通して毎年3%ずつ引き上げる。また、移動支援機器を使用した児童生徒の認知発達の上を、移動支援機器学習段階表（15段階）を用いて評価する。そして、その評価の妥当性を検証し、有用性の高い評価指標を精査する。		
取組みの概要	整備する 設備・物品 （概要）	DonDonikoo（どんどんいこー）3台 ※製品概要：自力で移動できない重度の障がいを持った子供が自分の意志で移動できることを可能にした電動台車。荷締めベルトで固定するだけで、様々な姿勢保持装置を乗せて動かせる。	
	取組 内容	前年度	移動支援機器先進事例発表会である「Kids LoCo Project」第7回研修会と「Carry Locoモーター制作講座」に3名の教員が参加（11月）、校内でCarry Locoモーター使用の周知を図るため、小学部教員1名、高等部教員1名、自活専任2名の計4名で実践（11月～2月）、校内実践報告会で、移動支援機器学習ステップ表（ALP「電動移動機器使用学習評価」を参考に本校で試案を作成）に基づく活用事例の報告（3月）
		初年度	特色創造プロジェクトチーム初年度発足（4月）、専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）を全教員に実施、現状分析（4月、5月）、移動支援機器（Carry Locoモーター）活用教員研修（6月）、移動支援機器指導対象児童生徒・授業を決定・実践開始（6月、7月）、中間評価（9月）、DonDonikoo活用教員研修（10月）、校内活用報告会（2月）、専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）を全教員に実施最終評価・次年度に向けた方針決定（3月）
		2年め	特色創造プロジェクトチーム2年め発足・専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）を全教員に実施、現状分析（4月）、移動支援機器指導対象児童生徒・授業を決定・実践開始（5月、6月）、全肢研報告内容まとめ（7月）中間評価（9月）、全肢研発表（11月）、校内活用報告会（2月）、専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）を全教員に実施最終評価・次年度に向けた方針決定（3月）
		3年め	特色創造プロジェクトチーム3年め発足、専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）を全教員に実施、現状分析（4月）大阪肢体不自由自立活動研究会「研究協議会」で移動支援機器を活用した自立活動時間の指導研究授業と本校の自立活動（7月）、大阪肢体不自由自立活動研究会「研究発表会」で3年間の移動支援機器活用に関する研究のまとめの報告を行う（2月）専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）を全教員に実施最終評価、自立活動における移動支援機器活用の報告 冊子完成（3月）
	取組みの 主担・実施者	主担：特色創造プロジェクトチーム 取組みの実施者：全教員の7割程度を予定	
成 と評 果の 価 検 証 方 法	初年度	学校教育自己診断（教員）：「支援機器の活用により指導内容の充実が図られている。」肯定的評価平成30年度72%を3%引き上げ、令和元年度75%にする。 専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）：自己評価3以上を50%にし、教員の支援機器の活用の推進を図る。 学校教育自己診断（保護者）：「子どもの可能性を向上させる授業が行われている」肯定的評価70%にする。 移動支援機器学習段階表（15段階）：評価の妥当性を検証し、段階が1段階向上した児童生徒を50%にする。	
	2年め	学校教育自己診断（教員）：「支援機器の活用により指導内容の充実が図られている。」肯定的評価75%を3%引き上げ、令和2年度78%にする。 専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）：自己評価3以上を60%にし教員の支援機器の活用の推進を図る。 学校教育自己診断（保護者）：「子どもの可能性を向上させる授業が行われている」肯定的評価75%に引き上げる。 移動支援機器学習段階表（15段階）：評価の妥当性を検証し、段階が1～2段階向上した児童生徒が60%にする。	
	3年め	学校教育自己診断（教員）：「支援機器の活用により指導内容の充実が図られている。」肯定的評価78%から81%に引き上げる。 専門性に関する自己評価シート（西淀川支援学校用）：自己評価3以上を70%にし教員の支援機器の活用の推進を図る。 学校教育自己診断（保護者）：「子どもの可能性を向上させる授業が行われている」肯定的評価80%以上に引き上げる。 移動支援機器学習段階表（15段階）：評価の妥当性を検証し、段階が1～3段階向上した児童生徒が60%以上にする。	

3. 事業費

事業費総額	1,473,984	円
-------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。 見積に基づく清算 実勢価格に基づく積算

科目（節）	番号	内訳	見積に基づく清算			実勢価格に基づく積算		
			1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
							小計	¥0
2 旅費	1							
	2							
	3							
							小計	¥0
3 消耗需用費	1	ビックスイッチツイスト				¥7,500	2	¥15,000
	2	ジェリービーンスイッチツイスト				¥7,500	2	¥15,000
	3	クリップアーム棒スイッチキット完成品				¥4,100	2	¥8,200
	4	ビックスイッチツイスト				¥8,640	1	¥8,640
	5	ジェリービーンスイッチツイスト				¥8,640	1	¥8,640
	6	どっちもクリップ A3強カタイプ				¥810	2	¥1,620
	7	どっちもクリップ ロングタイプ				¥900	3	¥2,700
	8	ラミネートフィルムA4				¥2,837	1	¥2,837
	9	カラープリンタトナーカートリッジ				¥1,947	1	¥1,947
							小計	¥64,584
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
5 役務費	1							
	2							
	3							
							小計	
6 委託料	1							
	2							
	3							
							小計	
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
							小計	
8 備品購入費	1	DonDonikoo				¥469,800	3	¥1,409,400
	2							
	3							
	4							
	5							
							小計	¥1,409,400
9 工事請負費	1							
	2							
	3							
							小計	
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
	3							
							小計	
							合計	¥1,473,984

積算内訳